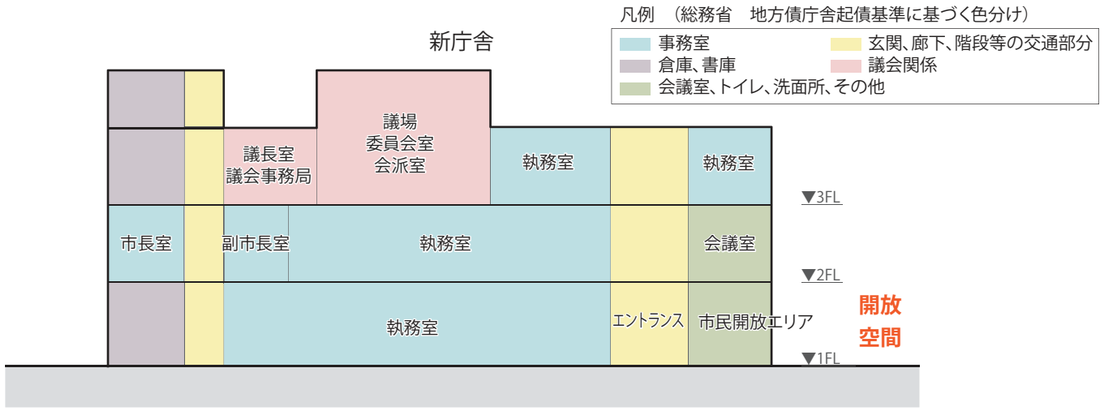
■ 階層計画

1階・・・開放的な市民空間
上層階よりも階高を高く設定し、市民の利用頻度の高い窓口部門を集約して配置します。

2・3階・・・快適な執務空間
各室の大きさから適切な天井高さを確保し、設備の更新性や経済性にも配慮して階高を設定します。



■ 構造計画

新庁舎は、災害応急対策活動に必要な施設であるため、大地震後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命確保に加えて十分な機能確保が図られている高い耐震安全性を有する建物とし、構造形式は「免震構造」を採用します。

■ 設備計画

新庁舎の設備については、基本設備に加え、災害応急対策としての対応や新エネルギーの活用、省エネ、省資源、ライフサイクルコストの低減を見据えた環境配慮の視点から、必要な設備を導入します。

7 新庁舎建設に向けた事業計画

■ 概算事業費

基本設計や実施設計の各段階において庁舎規模の検証やコスト縮減につながる構造、仕上げ、設備機器などを積極的に採用し、事業費を可能な限り抑制するなど、機能的で効率的な施設整備に努めます。

費目	費用（千円）	備考
設計監理費	200,000	造成設計、基本設計、実施設計等
敷地造成工事費	200,000	敷地造成工事
建設工事費	2,900,000	新庁舎建設費
周辺整備工事費	420,000	外構等付帯工事、調整池
合　計	3,720,000	税込

■ 事業スケジュール

令和元年度（２０１９年度）	令和２年度（２０２０年度）	令和３年度（２０２１年度）	令和４～５年度（２０２２~２０２３年度）
基本計画 基本設計	実施設計 確認申請	敷地造成工事	新庁舎建設工事

安芸市新庁舎建設基本計画
概要版（令和元年 11 月策定）

1 はじめに　基本計画の策定にあたって

本計画は、新庁舎建設基本構想で掲げた基本理念や基本的視点を受け継ぎ、庁舎の利便性や機能性、また環境への配慮などの視点から、新庁舎建設に必要な機能や施設などを示す整備方針、施設配置や規模などの整備に関する考え方を示す施設計画、スケジュールや事業費を示す事業計画などを定めたものです。

2 新庁舎建設の基本的な考え方

■現庁舎が抱える主な課題

①耐震性の不備
②庁舎の老朽化
③ユニバーサルデザインへの対応不足
④施設の分散と狭あい化
⑤高度情報化への対応不足

これらの課題を解決するとともに、市民や職員にとって利用しやすく、働きやすい環境整備を図ります。

剥落した庇（東庁舎）

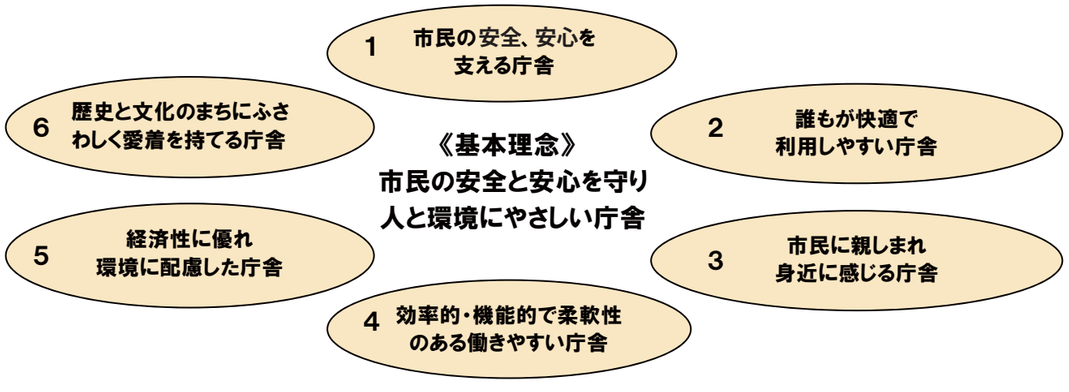
急勾配の階段（東庁舎）

慢性的に不足している駐車場

配線が混在する床（執務室）

3 新庁舎の基本理念と基本方針

基本理念の実現に向けて、６つの基本方針を定め、新庁舎に備えるべき「性能」や導入すべき「機能」など、取り組み方策を検討していきます。

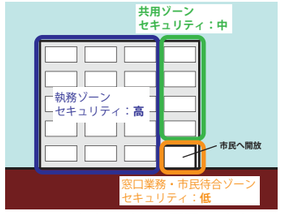


4 新庁舎の整備方針

1 市民の安全、安心を支える庁舎
（庁舎の安全性の確保）

(1)防災拠点機能
- 安全で安心な構造計画
- 防災拠点としての設備計画
- 防災拠点としての事業継続性

(2)防犯セキュリティ機能
- 明確なセキュリティライン
- 防犯対策



セキュリティ区画のイメージ

2 誰もが快適で利用しやすい庁舎
（窓口機能の向上）

(1)窓口・相談機能
- 安心して利用できる窓口機能
- 窓口案内表示の工夫
- 待合・ロビー機能、キッズスペース

(2)ユニバーサルデザイン
- 移動スペースの配慮
- 行為スペースの配慮
- 誰もが利用しやすい環境づくり

誰もが訪れやすく使いやすい窓口の例

3 市民に親しまれ身近に感じる庁舎
（情報発信と多様なスペースの確保）

(1)多様な市民利用スペースの確保
- 誰でも利用できる市民開放機能
- 市民利便機能

(2)情報提供・発信機能
- 情報提供発信機能
- 様々なイベントに対応できる空間の創出

(3)議会施設機能
- 開かれた議会としての工夫

市民開放機能の例

4 効率的・機能的で柔軟性のある働きやすい庁舎
（執務環境の柔軟性・効率化）

(1)働きやすい執務環境
- 機能的で働きやすい執務空間
- 将来の変化に対応する執務空間
- 維持管理・更新のしやすさ

(2)高度情報化社会への対応
- 設備更新スペースの確保

機能変更を容易にできる
オープンフロアの例

5 経済性に優れ環境に配慮した庁舎
（省エネルギー技術・長寿命化）

(1)自然エネルギーの有効活用
- 環境負荷低減手法

(2)省エネルギー技術の導入
- 省エネルギーの工夫

(3)環境負荷の軽減
- 再生資源の利用

(4)庁舎管理と施設の長寿命化
- 維持管理しやすい庁舎

太陽光パネルのイメージ

6 歴史と文化のまちにふさわしく愛着を持てる庁舎
（歴史と文化のまちにふさわしいデザイン）

(1)建物デザイン
- 市民のシンボルとなる庁舎
- 土居廓中の町並みとの調和

(2)木材利用
- 木の香る庁舎
- 地元産材の活用

木材利用のイメージ

5 新庁舎の規模と敷地概要

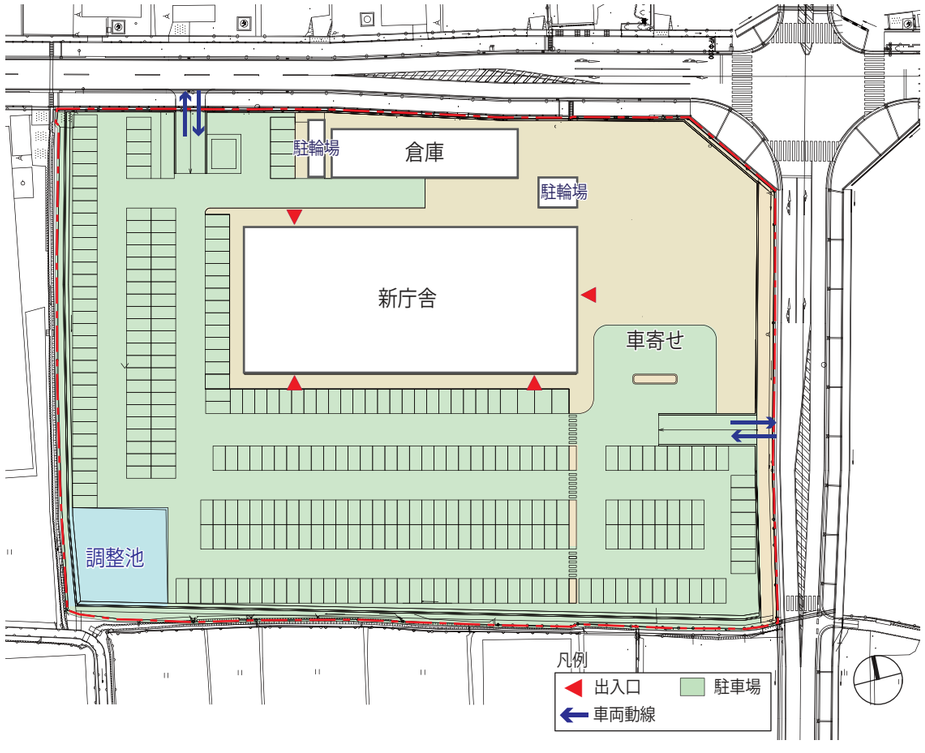
新庁舎の建設に係る敷地は、機能的な庁舎平面プランの実現、駐車場の確保や充実した市民オープンスペースの整備の必要性を考慮した敷地としています。

■所在地・・・安芸市土居82番地1
■敷地面積・・・約14,700㎡
■職員数等・・・職員 223 人／議員 14 人
■新庁舎の面積・・・5,800 ㎡程度
■駐車台数・・・駐車場 300 台

6 新庁舎の施設計画

■ 土地利用計画

建物・来庁者用駐車場・公用車（職員用）駐車場の位置を、「建物の正面性」「日影等の周辺環境への配慮」「開放的な空間の確保」「環境負荷」の4つの観点で検討しました。

■ 配置計画

敷地北東に新庁舎を配置し、東側に車寄せ・メインエントランスを設けます。
来庁者用駐車場を南側に設け、敷地西側の奥まった位置に公用車用駐車場（職員用）を配置します。
また、北側と東側の道路沿いには広場や歩行者用通路を設け、歩車分離を明確に行います。